

県立高校「未来の学校」構築事業 研究校の決定について

高校教育課
 教学指導課

1 趣旨

「高校改革 ～夢に挑戦する学び～ 実施方針」に基づき、「未来の学校」として先進的・先端的な研究開発に取り組む実践校を指定することにより、長野県高校教育をけん引する新たな学びの場、学びの仕組みを構築する。

これに向けて、2019年度は研究校を指定し、有識者であるアドバイザーの指導・助言・協働を得ながら研究開発計画を作成し、年度末にその計画を具体的に実践する実践校を指定する。

実践校は、2020年度以降概ね5年間研究開発に取り組み、検証・評価を行うとともに、成果の普及につとめる。

2 「未来の学校」研究校

種別 (略称)	研究開発の概要	研究校
卓越した探究的な学びを推進する高校 (スーパー探究校)	大学・研究機関等と連携して、現代の最先端の学問分野を視野に入れた卓越した探究的な学びを創造することにより、研究に対する意欲と目的意識、社会貢献に対する高い志と広い視野を育む。	野沢北高等学校
信州に根ざしたグローバルな学びを推進する高校 (信州グローバルハイスクール)	世界の諸課題を自分の住んでいる地域と関連づけながら、大学や学校外の団体等と協働して、社会変革や新たな価値を生み出すことにつながる課題解決型学習(PBL)を推進する。	須坂高等学校
国際バカロレアを研究する高校 (国際バカロレア研究校)	国際的な教育プログラムであるIBについて研究し、国際社会で活躍できる資質・能力を育成する教育課程を開発するとともに、海外大学進学希望者のためのプログラムを構築する。	飯田風越高等学校
高度な産業教育を推進する高校 (高度産業教育推進校)	独創性の開発や長期インターンシップなど、高校入学から上級学校等までの一体的で一貫した実践的教育プログラムを開発し、地方創生に資する高度な専門性や創造性を育む。	木曾青峰高等学校
少人数学級を研究する高校 (少人数学級研究校)	学級規模を縮小し、探究的な学び等について、生徒数に応じた新たな学びや指導のあり方とその有効性について仮説を設定して検証するとともに、学校運営のあり方についても研究する。	坂城高等学校
その他の研究校	現在の教育課題の解決を目的として、既存の考え方にとらわれない発想で、学校や地域の特長・魅力を活かし、多様で柔軟な学びの仕組みを創造する。	松本深志高等学校

3 公募期間及び応募校数

- (1) 公募期間 平成30年9月27日から平成31年1月10日まで
- (2) 応募校数 36校

4 決定までのプロセス

応募校から提出された企画提案書等を、県教育委員会事務局内に設置した審査委員会において、審査の観点に沿って審査し、地理的なバランスも考慮の上決定